

目次

はじめに

ii

❖「労働関係はじめてものがたり×50」に寄せて

vii iv
「労働文化」を読み取ろう 道見 直人
労働関係のルーツを訪ねて 荻野 勝彦

❖第一部 賃金・労働時間の分野

22	18	14	10	6	2
八時間労働制	日本を動かした松方の英断				
家族手当	戦時下・物価騰貴の下で制度が定着				
ボーナス	世界に例のない、特異な日本の賞与				
退職金	時代ごとに、さまざまな役割と性格を担う				
定期昇給制度	戦時下の「賃金統制令」で現在の形に				
三六協定	労使協定による残業抑制を期待				

通勤災害保護制度	問題提起から10年、難産のすえ発足
生理休暇	女性教員だけの決起集会が発端
年次有給休暇	「まとまつた休暇」から離れた日本の姿

❖ 第2部 雇用の分野

終身雇用制	経営のニーズに労働者の安定志向がマッチ
定年制	海軍火薬製造所が発祥の地
ワークシエアリング	失業の「緊急避難」から「働き方改革」へ
雇用調整助成金	オイルショックの世論に押されて誕生
ハローワーク	江戸の医者のアルバイトから新商売
集団就職	高度成長経済を支え、推進力に
二コヨン（失対事業の日雇労働者）	廃止に苦労した戦後混乱期の制度

❖ 第3部 勞働法制の分野

労働基準法	国際基準を目指に燃えた16人
労働組合法	GHQの民主化政策で一気に誕生
最低賃金第一号	静岡缶詰協会が誕生をリード
週休2日制	基準法に「ゴムひも」を付けて推進
週40時間労働制	基準法改正から10年かけて移行
男女雇用機会均等法	みにくいアヒルの子が白鳥に

けい肺と労災保険	………	けい肺対策が給付体系の拡大を動かす
解雇のルール	………	解雇権を認めつつ、判例ルールで修正
失業保険	………	西欧諸国に遅れ、戦後やつと誕生

102

98

94

❖ 第4部 労働運動の分野

148 144 140 136 132 128 124 120 116 112 108

労働運動発祥之地	………	運動の歴史を刻んで一世紀
最初のメーテー	………	上野公園で開催された
連合結成	………	悲願だった労働戦線統一が現実に
近江絹糸の人権争議	………	労務管理の近代化を促す強い警鐘に
春闘の始まり	………	太田・高野の路線論争の中でスタート
「春闘」という用語	………	変遷さまざま、時代を反映
労働歌「がんばろう」	………	三池闘争の対決の中から誕生
大幅賃上げの行方研究委員会	………	危機的インフレに賃上げガイドライン
賃金自肅論	………	賃金闘争に秘められた主導権争い
生産性三原則	………	労使に信頼と協力の関係を醸成
企業別組合	………	工員と職員の平等化に寄与

❖ 第5部 労働関係組織の分野

158 154

労働省	………	戦後の労働改革のシンボル
労働基準監督制度	………	「国の直轄」「専任監督官」誕生の苦勞

208 204 200 196 192

186 182 178 174 170 166 162

ILO（国際労働機関）…………第1次世界大戦の反省から設立
日経連…………経営者よ正しく強かれ！

社会保険労務士…………人事労務・社会保険のスペシャリスト
シルバー人材センター…………高齢者が自立して就労に生きがい
生産性運動…………戦後の労使関係の枠組みを作る

労働金庫…………労働者による労働者自身のための銀行
QCサークル…………“日本の労働者”的特質を形成

❖ 第6部 安全衛生の分野

- 野麦峰…………日本の近代化を支えた少女たち
- 「安全第一」運動…………アメリカから輸入した先達たち
- 安全週間…………運動を仕掛けた3人の男
- 労働科学…………最善の作業状況を科学的に研究し提案
- 過労死…………不名誉な日本生まれの国際語